時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には每號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報

第三千二百五十九號　日曜日
明治廿五年二月七日(己巳)
舊暦壬辰正月九日
日 出午前六時三十八分 入午後五時十三分
月 出午前十一時五十五分 入午前一時四十八分
滿潮 午前十一時四十六分 午後
(西暦一千八百九十二年)

時事新報定價
時事新報は每號八面乃至十二面にして詳細の商況物價報告あり其代價遞送料廣告料は左の如し
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓〇月曜日休刊
○時事新報社より直接ニ遞送スルモノハ右定價ノ外ニ一箇月十三錢の遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料(前金)

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各府縣に通信社あるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐること尠からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も尠からされば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報

民黨に反對する者必ずしも政府の味方に非ず

議員撰擧の期日も次第に差迫りて最早僅かに數日を餘すのみとなりたれば全國各地に於ける候補者の運動は日に益々忙しく各々畢生の力を盡して相爭ふ其模様は日々の諸新聞紙を見ても之を知る可し元來此度び議員撰擧の必要を見るに至りたる所以は昨年の議會に於て政府と彼の所謂民黨との間に大衝突を生じたるが爲めにして次回の議會には是非とも多數を占めんとて政府と民黨と相敵して成敗を爭ふものなれば恰も官民の爭とも云ふ可き有様にして隨て世上一般に官黨民黨の聲を高くし苟も政治社會に奔走する人を見れば其人は必ず此兩黨の一に屬するものとのみ想像して疑はざる者多きが如し例へば爰に民黨を攻撃する論者あれば民黨の人々は直に之を目して吏黨と云ひ御味方と云ひ恰も其論者は政府を助けんが爲めに己を攻撃するものなりと認めて之を惡むこと甚だしく又政府に於ても我反對者に反對するものは即ち我に味方する者なり、民黨の敵は即ち官黨の友なりと信じて得意なるが如くなれども畢竟するに政府の人も民黨の人も自家相互の爭に心を奪はれて世間に民黨にも同意せず政府にも左袒せざる獨立不偏の論者あるを忘れたるものと謂はざるを得ず蓋し昨年の議會が國民の利害をも顧みずして漫に政府に反對し人情に悖り常識に外れたる奇を舉して施政を妨げんとしたるは誠に言語に絶したる不始末にして思慮ある者は誰しも之を非難せざるはなし今日民黨が社會上流の一部分に人望を失ふに至りたるも全く之が爲に外ならずと雖も左ればとて今の民黨に反對する者は徹頭徹尾政府の味方なりとして安心す可らざるのみか其中には却て大に政府に向て不平を懷く人も尠なからざる可し我輩の每度云ふ如く今の政府は情實の爲めに束縛せられて政略の運動自由ならず其運動不自由なれば隨て宦途に冗員多く會計に冗費多くして既に不利なるのみならず其冗員冗費は遂ま以て繁文の弊を釀すの媒介となりて人民に厭はるゝ尙ほ其上にも宦吏は一般に專制時代の舊體を脱すること能はずして漫に自から尊大を裝ひ曾て人民に向て愛嬌を賣ることを知らず人民の身と爲りて之を見れば尊大は厭ふ可し繁文は煩しきに堪へず唯政府に遠ざかるのみにして之を愛し之を慕ふものとては甚だ稀なるが如し故に天下有識の士は此事態を見て安んずるを得ず單に當局者の身の爲めに忠告するに非ずして國家の不幸として飽くまでも其改良を促さんとするの決心なれば其之を促すは所謂民黨の攻撃論などに比すれば趣を殊にすと雖も自から政府に反對するものと謂はざるを得ず左れば政府が此立憲政體の間に居ながら尙ほ改良の果敢に乏しく荏苒今日の儘にて押し行かんとするときは幾年を經過するも唯徒に反對者の數を增すのみにして味方の殖る望はある可からず今日偶ま政黨以外の獨立論者が民黨に反對するを見て是れは必ず我を助くる者ならんと早合點に會得して濟々たる多士は民黨の敵なり政府は政友に乏しからずなど安心の餘りに自家の整理を忘れ後日に至りて却て其政友より思掛けなき攻撃を蒙りて悔ゆることなからん樣我輩は政府の人々に向て今より注意を促すものなり

官報

○正誤　昨五日勅令第十六號中歳入第一款及第一項整理公債募集金ノ内圓ノ下ニモ「四」ノ字ヲ脱ス　内閣書記官

○司法省告示第七號
靜岡地方裁判所管内下田區裁判所南中出張所明治二十五年二月二十日ヨリ開廳ス
明治二十五年二月六日　司法大臣子爵田中不二麿

○遞信省告示第三十一號
門司鐵道停車場電信取扱所ニ於テ本月十六日ヨリ返信料前納電報モ亦發著共之ヲ取扱フ
明治二十五年二月六日　遞信大臣伯爵後藤象二郎

雜報

○北支那賊徒鎮定の模様　を尋ぬるに河北駐營葉提督が始めて朝陽に出陣し追々賊徒を驅逐すると同時に奉天府の官兵は黒子城一帶の地を鎮撫することに從事し提督左寶貴、副都統豊陞阿等の一隊は開太廟の地方にて賊首孫亭儀を始め其元帥王廓得、齋保山等千四百餘名を殺し勝に乘じて再び元帥千化汶、先鋒孫發敎、頭宋明、軍師張催一等千餘名を或は殺し或は擒にしたり是等は今度賊徒蜂起以來最も花々しき戰にして官軍の全勝を得たるは都合六回なりしとぞ左れば其間に賊の旗、槍砲、火藥等を略取したること其數を知らず賊は元より烏合の衆なれば勢ひの不可なるを見て追々に烏丹城の方に逃走したれども今も尙ほ直隸の各軍を進發して次第々々に追擊中なり故に此分にては再燃の憂ひなかるべしとて僧みそ先頃より屢々平定せりとの事を世間に發表したるものゝ如し左りながら彼等が跡を收めしと云ふは素より一時の事にして詰り臺灣の生蕃とか貴州の苗人等の如く其餘孽を殘さず殲滅するは難事なるべしと云ふ

○清帝の覽に供す　右暴徒討伐の事に付き出陣の各將校より具狀するものは一々蒐集して一本とし軍機大臣某檢閲の上清帝の覽に供へ來れるが帝は之を見て各將校の功を嘉し其度毎に位階を進め勳章を贈與されたる向も少からずとぞ

○新地圖成る　長城外一帶の地は四邊に山岳重疊して中は廣原漠野多く是まで外國人は其地理形勢を知るべき詳細の地圖を得る能はざりしが近頃天津へ出張の某國の武官等は種々取調べて漸く稍々密なるものを製したりと云ふ

○天津初雪　近頃來滿洲地方は屢々降雪ありし由なれども天津は寒氣嚴しきのみにて未だ一回も雪を見ざりしが近頃一層の寒を增し一月十日夜より降雪朝來二寸餘も積れり但し冷氣の割合には雪少なけれども北京邊は大雪ならんか兎に角に山東一帶の驛遞便は之れが爲めに更に遲滯することなるべし(以上四件一月十一日天津發通信、陸路便延着)

○歐米諸國鐵及鋼鐵産出の實況　なりとて昨年十一月の英國商務院月報は左の如く報道したり

○千八百九十年歐米諸國鐵及鋼鐵産出の實況　世界諸國中鐵の産出を以て著名なるは北米合衆國、英吉利、獨逸、佛蘭西、澳地利、匈牙利、瑞典及白耳義の七箇國なりとす此等七箇國に於て年々産出する鐵の高は世界諸國産出鐵總高の九割五分に當る今左に千八百七十年、千八百八十年及千八百九十年の生鐵産出高を列記して其發達の速なるを示す

	千八百七十年(千噸)	千八百八十年(千噸)	千八百九十年(千噸)
北米合衆國	一、七一八	三、九五七	九、三三二
英吉利	六、〇三九	七、八二〇	八、〇〇五
獨逸	一、一七〇	二、七六三	四、六九六
佛蘭西	九二一	一、七二七	一、九六三
澳地利、匈牙利	四〇二	四六四	九二二
瑞典	二九二	四〇四	八二〇
白耳義	五六三	六〇八	七七九
合計	一一、一〇五	一七、七四三	二六、五一七

右表中獨逸國の産出高はロートリンゲン及盧森堡の産出高を包含せず但し千八百九十年に於ける此等二州の生鐵産出高は六百七十萬噸なり

右諸國中最も發達を極めたるは北米合衆國にして千八百八十九年に於ける産出高は千八百八十八年に比し一割七分の增加を致したるが千八百九十年に於ける産出高は千八百八十九年に比し二割一分の增加を來せり即ち過る六年間に於ける鐵産出の增額は二倍にして千八百七十八年以降の同增額は三倍なり英國の産出高は前掲八百萬五千噸にして千八百八十三年の如きは同國生鐵産出高の最高點に達したる年なりしにも拘らず之を千八百九十年に於ける北米合衆國の産出高に比しては及ばざる遠しとす

獨逸國に於ける生鐵産出高はロートリンゲン及盧森堡をも合し千八百八十九年に於ては大約千百萬噸なりしが千八百九十年に於ては千百三十九萬六千噸に增せり又製鐵高は千八百八十九年に於て二百七十六萬九千噸なりしが千八百九十年に於て二百四十六萬九千噸に製鋼高は千八百八十九年に於て二百九萬五千噸なりしが千八百九十年に於て二百十六萬二千噸に增せり

佛國に於て石炭及生鐵に對する關税の重きは同國生鐵の産出を增す原因と爲り千八百九十年に於ては千八百八十九年に比し一割一分を增せり而して今や同國需要の鐵及鋼鐵は概ね自國産出品を以て供給し其輸入を英國に仰ぐは甚だ僅少なり即ち生鐵産出高は千八百八十九年に於て百七十萬噸なりしが千八百九十年に於て百九十萬噸に製鐵高は千八百八十九年に於て七十九萬三千噸ありしが千八百九十年に於て八十二萬三千噸に、製鋼高は千八百八十九年に於て五十二萬九千噸なりしが千八百九十年に於て五十六萬六千噸に增せり

澳匈國に於て産出する生鐵高は千八百八十九年に於て八十五萬噸なりしが千八百九十年に於て九十二萬二千噸に、製鐵高は千八百八十九年に於て四十三萬九千噸
なりしが千八百九十年に於て四十
は千八百八十九年に於て六十一萬
百九十年に於て七十三萬四千噸
鐵及鋼鐵業に於て著大なる進歩を
原因は鐵道業の盛大を致せるに
白耳義は前掲諸國に反し獨り生鐵
是れ職として石炭及コークの相場
場下落せるに因らずんばあらず
人は職工の賃銀を減して同業の
工の同盟罷工を惹起し一層困難
生鐵産出高は千八百八十九年に於
が千八百九十年に於て七十七萬
八百八十九年に於て七十七萬七千
十年に於て五十萬七千噸に、製
に於て四十六萬九千噸なりしが千
十五萬五千噸に減せり
右諸國の外瑞典は内外國共に千
の盛大なりし餘響を受け著く同
國より造船の注文を受け又瑞西
を受くるに至れり即ち製鋼高は千
十三萬五千三百噸なりしが千八百
噸に、又生鐵産出高は千八百八
七千九百五十噸ありしが千八百
三千三百噸に增せり

○大坂の金融　大坂の金融は依
正月前に押詰て地方取引の當用
稍や引締りの景況を呈し交換所
迄の取組あり然れども最早舊正
したれば今後の金融は一層緩慢
一月中大坂同盟銀行交換所取組
に左の如し

諸手形交換高
金　三、二三一、五一二、五四〇圓
内譯
振出手形　四、三四〇〇圓
預金手形　一、三五八、二七三、八一四
當座小切手　一、四一六、八八九、五四四
交換小切手　四五二、二〇九、四〇〇
割引取組高　一、二一〇、〇〇〇、〇〇〇
東ゝ送金
受着送金　一六五、〇〇〇、〇〇〇

○神戸港に於ける輸出米の近況
したるより輸出米の原價に變り
にはわらざるより昨今外商館等
など種々の噂ある内にも二十二
七千噸の買約定を爲したりとは
にも信じ難く漸く二三百噸位の
る様子あり斯は爲換相場の下落
運賃を引上げたるより却て割安
く手を出さゝるものならん現に
を出し居たる横濱ワットソン商
日下一寸買ひ止め又日本精米會
たる有様あれば先づ不活潑の市
地よりの通信

○横濱共同倉庫會社執務時間の
來執務時間を改正したるが向間
及祭日には休業し來りしも右に
なりとて日曜及び大祭日は午前
する事に改正せし由尤も日曜大
は爲さずして單に貨物の出入の

○鳥羽鐵工場の再興　三重縣下
羽鐵工場は曩きに業務上の都合
至りしが今度同場長たりし八
海道及東京府の豪商と圖り金々
る由なり